

演奏者プロフィール



指揮 / 高橋 誠也 (たかはし せいや)

1963年山形大学特設音楽科卒業、同教育専攻科(ピアノ)修了。ピアノを石川治子、指揮を前田幸市郎、伴奏法を小林道夫の各氏に師事。1968年より東京藝大大学院オペラ科で講師を38年間勤め、多くのオペラ制作に携わる。東京合唱団では前田幸市郎氏に宗教音楽を学ぶ。1982年創設以来、当合唱団の常任指揮者を務め、バッハの教会音楽の研究をライフワークとしている。



福音史家・テノール / 望月 哲也 (もちづき てつや)

東京藝術大学卒業。同大学大学院修士課程オペラ科修了。第70回日本音楽コンクール第2位をはじめ、多数のコンクールに入賞。モーツァルトを中心に様々なオペラ作品に出演。宗教曲作品でも「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」の福音史家をはじめ、40作品以上のレパートリーを有する。二期会会員。国立音楽大学および同大学大学院准教授。



イエス / 青戸 知 (あおと さとる)

東京藝術大学首席卒業。在学中より、数々のオペラで喝采を浴びる。新国立劇場「魔笛」/パペーノ役では、世界的オペラ演出家兼舞台美術家ハンペ氏より「生まれながらにしての舞台人」と称賛される。多くの有名オーケストラと共演、デュオ他世界的指揮者から信望を得ている。特に小林研一郎指揮、マーラー「さすらう若人の歌」は他に比肩するものがない。聖徳大学大学院より、マーラーの研究で博士号取得。聖徳大学音楽学部講師。二期会会員。



ソプラノ / 森 有美子 (もり ゆみこ)

東京音楽大学声楽演奏家コース卒業。東京藝術大学大学院古楽科バロック声楽専攻修士課程修了。数々の宗教曲等のソリストを務めるかたわら、日本ヘンデル協会主催のバロックオペラなどにも出演。マドリガーレグループ DolceAmaro 代表。16、17世紀のイタリアのマドリガーレを中心としたコンサート活動を行い、2022年には北とぴあ国際音楽祭に出演。



アルト / 中野 由弥 (なかの ゆみ)

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。在学中に「コシ・ファン・トゥッテ」でオペラデビュー。「フィガロの結婚」ケルビーノ、「椿姫」フローラ等の役を務める。また「第九」、「メサイア」、「レクイエム」(モーツァルト、ヴェルディ、ドボルジャーク)、「復活」(マーラー)、「ヨハネ受難曲」、「口短調ミサ」、「クリスマス・オラトリオ」(バッハ)等のアルトソロで好評を得ている。埼玉新演奏連盟会員、東京カンタータ・コレギウムメンバー。



ピラト・バス / 金沢 平 (かなざわ たいら)

東京藝術大学声楽科卒業。同大学院独唱科修了。在学中より様々なオペラに出演。落ち着いた役からエキセントリックな役まで幅広く演技存在感を示している。宗教曲では、「レクイエム」(モーツァルト、フォーレ、ブラームス、ヴェルディ)「天地創造」「エアリア」「戴冠ミサ」「ヨハネ受難曲」「マタイ受難曲」等のバスソリストとして高い評価を得ている。中野由弥と夫婦で活動の幅を広げている。ウェブサイト「メゾとバスバリ」

Website
メゾとバスバリ



東京 J.S. バッハ合唱団について

当合唱団は、1982年に創設され、常任指揮者・高橋誠也の下、バッハの四大合唱曲とされる「ミサ曲口短調」、「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」、「クリスマス・オラトリオ」を演奏しているアマチュア合唱団です。当団の音楽指導の特長は、正確な発音と言葉のアクセントに合わせた音の強弱付け、パート別の強弱付け、レガートとマルカートの明確な区別にあります。演奏会を聴いていただければ、ご理解いただけます。私たちと共に、バッハの大曲を歌ってみたいと思われる方の入団を心待ちにしております。

練馬文化センター大ホール 交通ご案内 西武池袋線練馬駅より徒歩1分



国土地理院地図を加工

東京 J.S. バッハ合唱団 活動のご案内

練習日: 木曜日 午後6時半~9時、月3-4回

土日: 13時半~16時半 月1回

会場: 日本基督教団シロアム教会、他

1ヶ月間 4回無料体験入団制度あり

詳細・お問い合わせ先

HPをご覧ください。練習動画も公開しています。

URL: <http://tokyo-jsbachchor.org>

higeanri@nifty.com (広報担当: 森川)

HP

